

第 1 2 回
令和 4 年度定時総会資料

令和 4 年 5 月 1 9 日



一般社団法人
ビルディング・オートメーション協会

第12回 令和4年度定時総会

日 時 令和4年5月19日（木）午後3時00分
場 所

総 会 次 第

総会設立宣言

議 事

第1号議案 令和3年度事業報告の承認の件

第2-1号議案 令和3年度収支決算の承認の件

第2-2号議案 令和3年度監査報告の承認の件

第3号議案 令和4年度事業計画案の承認の件

第4号議案 令和4年度予算案の承認の件

第5号議案 役員改選承認の件

第1号議案

令和3年度事業報告

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

昨年度もウィズコロナの環境にあり、第5波第6波の流行がありました。会員の皆様におかれましてはご健勝である旨を祈念しております。

いろいろな行動制約のある中、皆様の会社業務にも影響があり、ご苦労があったと推察しております。しかしながら一昨年とは違いワクチンその他の進展によって経済活動は少しずつ軌道を取り戻していると理解しております。

昨年に続きまして、新型コロナウイルス感染症への抑止対策として総会運営は規模・内容を縮小し企画させていただきます。

今年も事前送付させていただきます各種資料、すなわち議案書、各部会活動資料を閲覧頂き、ご賛同頂ける場合は委任状を頂きたいと考えております。しかしながら弊協会の活動や収支、人事に特にご意見のある場合は「縮小された総会」は開催いたしますので、どうぞ事務局に連絡の上、ご参加ください。

2021年は4月にゴルフの松山英樹が米マスターズ・トーナメントで初優勝を飾り、メジャー大会初制覇また、11月、米大リーグの今季最優秀選手(MVP)に投打の「二刀流」で歴史的な活躍を見せた大谷翔平が初受賞を果たすなど、コロナ禍の中にあっても明るいニュースのある年でした。

岸田首相は10月の国会で第100代首相に指名され、岸田内閣を発足させた後、14日に衆院解散を決定。「新しい資本主義」を掲げ、11月に第2次内閣を発足させたことはまだ最近のことに感じられます。

首相は11月、COP26世界リーダーズ・サミット(グラスゴー、英)でのスピーチにて、「2050年カーボンニュートラル。日本はこれを、新たに策定した長期戦略の下、実現してまいります。2030年度に、温室効果ガスを、2013年度比で46パーセント削減することを目指し、さらに、50パーセントの高みに向け挑戦を続けていくことをお約束いたします。」などと謳っておられ、「我々が気候変動問題に向き合う時、誰一人取り残されることがあってはなりません。日本は、対策に全力で取り組み、人類の未来に貢献してまいります」と発表を締めくくっています、

その後1月「クリーンエネルギー戦略」を提唱したことは省エネ省CO2と関係の深い我々の業界と深く通底しており、新しいエネルギー社会に向けてこれまでにないビジネスが業界に惹起されることと感じられます。

世界各地での異常な気象とその被害は継続して観測され、日本においても8月の記録的な大雨は西日本の日本海側で平年比の371%、西日本の太平洋側で平年比の297%も

の降水量を記録し、東日本でも太平洋側では平年比の 219%も降水量を記録し、1946 年の観測開始以降 2 番目となる大雨でした。異常気象の原因を取り除く省 CO2、省エネの仕組みは社会の中でますます重要な位置づけとなっておりまゐりました。

関連する省エネ法につきましても、この 4 月に閣議決定され、再エネの取り込みと（これまで矛盾のあった）省エネ制御との整合が諮られようとしているところであります。

ビルディング・オートメーション協会は新しいしくみづくりの実施や試行を一年、すすめて参りました。まず、理事長・事務局活動としては今後の BA 協会会員皆様の事業領域の拡大のため、バーチャルパワープラントなどについて所轄官庁・大学・公的機関に陳情に伺っております。

また昨年について、教育視察部会・広報出版部会の連携によって、1 月 20 日に開催いたしましたオンラインセミナー「カーボンニュートラルに貢献する建築設備の動向と BEMS 活用」は参加申し込み約 250 名を頂き、名古屋大学田中先生、日建総研丹羽先生、日建設計佐藤デレクターなど著名な皆様の講演とディスカッションにて好評の裡に実施致しました。今回は手作りの、つまり協会関係者のみで企画・実施しましたセミナーですがアンケート結果、視聴皆さまの通信環境に課題が残り、今後の改善を検討して参る所存です。

基幹となる活動については、調査研究部会が「国土交通省 公共建築工事標準仕様書」「公共建築設備工事標準図—自動制御機器」について年間を通じ改定案に会する意見提出、ヒアリング、質疑対応を、また経済産業省からの要望に対する技術回答を受け持っています。同じくコンプライアンス部会は、「建設業社会保険推進連絡協議会」の建築キャリアアップシステムに対する各種まとめ、また喫緊の課題である、「重層下請改善課題」に関する関係客先の誤解の解消に向けて、部会に止まらない拡大会議などを設置し精力的に問題解決の道筋を模索しております。

このようにビルディング・オートメーション協会は社会一般、より多くの方々に認知され、国土交通省を主体とする定常の所轄団体活動、複数の機関への計装・BA 業界としての対応、通達文・ホームページの運営など情報周知、講習会、研鑽会、視察研究会など教育、労務環境課題やコンプライアンスの推進など、4 つの部会活動と新しい要請への対応により、業界の皆様のため貢献すると共に、発生する課題への取り組みや会員相互の技術力の向上、知識共有に取り組んで参ります。

計装・BA 業界の窓口として活動を進めつつですが、現在、会員企業数が減少し 35 社となりましたが、今後も全国で会員を募り、広くご意見を聞く機会を拡げていき、協会の運営を図っていく所存です。

当協会は社会に貢献すると共に、BA 業界の地位向上と会員の皆様の更なる発展を目指してまいります。どうぞ引き続きご協力・ご鞭撻をお願い申し上げます。

令和年3年度 定時総会・理事会の開催履歴

定時総会 5月20日開催

第1回定時理事会 5月20日開催

第2回定時理事会 7月15日開催

第3回定時理事会 9月16日開催

第4回定時理事会 11月18日開催

第5回定時理事会 1月25日開催

第6回定時理事会 3月17日開催

※各理事会の議事録は、ホームページに掲載されています。ご参照下さい。

一般活動報告

1. 中央官庁等対応

下記中央官庁他団体からの照会に対応した。

- ・国土交通省 大臣官房官庁営繕部
- ・中小企業庁
- ・経済産業省
- ・（一社）公共建築協会

2. 部会活動

1. 調査研究部会

< 中央官庁等対応 >

- ・国土交通省 大臣官房官庁営繕部 設備・環境課
「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」
「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」
改定作業（意見照会・データ提供等）。令和4年7月施行予定
「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」
「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」
改定作業（意見照会等）。令和4年4月施行予定
- ・（一社）公共建築協会
「機械設備工事監理指針 令和4年版」
改定委員会への参加。
「電気設備工事監理指針 令和4年版」
改定に関わる意見照会。
「建築保全業務共通仕様書 平成30年版」
「建築保全業務積算基準 平成30年版」
「建築保全業務積算要領 平成30年版」
改定に関わる意見照会（国土交通省大臣官房官庁営繕部からの委託）。
- ・経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課
「産業サイバーセキュリティ研究会(WG1-SWGビル分野)」に参加（継続）。
SWG活動：「ビルガイドライン（本編）」の拡充と更なる利活用促進を

検討。

作業グループ活動：「個別編：空調システム」について最終案の作成・取りまとめ。R4年度発行に向け準備。

2. 広報出版部会

- ・ ホームページコンテンツの維持、更新を行った。
更新内容は、官庁通達、総会、理事会議事内容、視察方向等。
また、体制、会員情報変更等の情報を修正、更新した。
- ・ ホームページの会員ページのパスワードについては、
会員更新時に合わせて変更を実施した。
- ・ 令和3年度版 パンフレットを製作し印刷。関係者に配布した。
- ・ 計装工業会機関誌への寄稿により、建設業界へのBA協会の知名度向上。
- ・ オンラインセミナー実施にあたり、運営企画及び現場指示を行った。

3. 教育視察部会

<教育視察活動一覧>

- ・ 2021/05/20 令和3年度定時総会講演（講演会は中止）
- ・ 2021/7～2022/1 第1回研鑽会オンラインセミナー準備会実施（12回）
- ・ 2022/01/20 第1回研鑽会オンラインセミナー実施
「カーボンニュートラルに貢献する建築設備動向とBEMS活用」
会員企業など約270名参加 ※広報出版部会共催
- ・ 2022/01/31 第1回研鑽会オンラインセミナーアンケート実施
- ・ 2022/02/18 第2回研鑽会「BACnet講習会」（コロナのため延期）
※電気設備学会共催
- ・ 2021/03/17 第1回研鑽会オンラインセミナーアンケート結果集計
※視察研究会はコロナのため中止

4. コンプライアンス部会

<コンプライアンス、労務環境対応>

- ・ 官公庁等からの通達事項を確認し、ビルディング・オートメーション業界での関連事項を理事会に答申。
- ・ 社会保険加入の徹底に加えて、建設キャリアアップシステムの普及推進や適切な賃金水準の確保など、同プログラムにおける「給与・社会保険」の分野に関する取組を議題とする「建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会」に出席。
- ・ 重層下請構造の改善に向けた取組の検討

3. 官庁からの通達文書配布リスト 2021年度（令和2年～令和3年度）

発信者	件数
国土交通省不動産・建設経済局	115 件
国土交通省大臣官房長	3 件
国土交通省中小企業庁	1 件
国土交通省	1 件
国土交通省・財務省・国税庁	1 件
国土交通省住宅建築指導課	1 件
国土交通大臣	1 件
国土交通大臣・経済産業大臣	2 件
経済産業省 商務情報制作局 産業保安グループ電力安全課	1 件
厚生労働省労働基準局	2 件
建設業振興基金	1 件
検察庁・都道府県警察	1 件
資源エネルギー庁	1 件
経済産業大臣・公正取引委員会委員長	1 件
財務省・公正取引委員会・経済産業省・中小企業庁・国土交通省	1 件
総務省・厚生労働省・経済産業省・国土交通省・内閣官房・内閣府	1 件
その他 ※個人情報保護委員会 HP ※中央建設業審議会会長 ※「しわ寄せ」防止キャンペーン月間リーフレット 他 7 件	10 件

計 144 件

第2-1号議案

令和3年度収支報告（単位：円）

【1. 経常収入の部】

（予算）

	単 価	金 額	
前年度繰越金		791,651	
会費収入			
年会費(55口)	60,000	3,300,000	2,630,000
雑収入			
業務受託費		143,000	
戻し金		58,154	
利息		13	10
経常収入合計		<u>3,501,167</u>	<u>2,630,010</u>

【2. 経常支出の部】

通信費	0	3,000
旅費交通費	94,713	150,000
交際費	124,470	200,000
広告宣伝費	85,800	60,000
消耗工具器具備品費	57,131	10,000
事務用品費	550	10,000
諸手数料	23,980	15,000
会議費	485,173	350,000
業務委託費	793,458	750,000
図書講習会費	40,000	20,000
教育訓練費	410,000	950,000
予備費	0	112,010
経常支出合計	2,115,575	2,630,010

経常支出差額	1,385,592	0
--------	-----------	---

法人税等(印紙税、消費税)	111,861	120,000
---------------	---------	---------

次期繰越金	2,065,832	
-------	-----------	--

第2-2号議案

監査報告書

一般社団法人ビルディング・オートメーション協会 殿

本協会定款27条に基づき、本協会の業務および会計を監査する為、関係帳票を精査の結果、業務執行状況および計算書類ともに適正であり、妥当であることを認めます。

2022年4月11日

一般社団法人ビルディング・オートメーション協会

監事

菅沼 孝至



第3号議案

令和4年度事業計画(案)

ビルディング・オートメーション業界の発展を目指すとともに、国土交通省等の窓口団体として以下の事業を行なう。

中央官庁他外部団体対応（主査：調査研究部会）

- ・国土交通省およびその関連団体に対し、業界の窓口としてBAに関する諸委員会への参画、ならびにBA業界への依頼要請への対応を行なう。
また、BA業界における課題解決の取り纏めを行ない、必要あれば諸答申を行なう。
- ・国土交通省をはじめ、経済産業省、厚生労働省、環境省等からの、BA業界への指導・通達・要請に対し、業界の窓口として対応する。
- ・他業界団体等からの要請等に対し、業界の窓口として対応する。
- ・「ビルのサイバーセキュリティ問題」について経済産業省等の関係団体と連携し、外部からのサイバー攻撃等に関するリスクの調査・研究を行ない、BAにおける制御システムセキュリティの強化のための研究活動を継続して行なう。

教育活動（主査：教育視察部会）

- ・BA事業の市場拡大や技術向上を目的とした、協会会員の技術研鑽、知識向上のための教育を多面的に捉え、最新技術に関する講演会ならびに現場視察研究会、課題解決を図るための勉強会等、協会会員参加による研鑽会をオンライン開催も活用し、企画・実施する。
- ・必要があれば、広報出版部会やコンプライアンス部会などの関連部会と連携して協会会員の参加による外部研修会への参加を企画し、会員の技術研鑽への啓蒙を図る。

広報活動（主査：広報出版部会）

- ・ホームページを充実させ、協会の広報活動・会員企業紹介行う。
- ・ホームページに本会の活動報告や出版物を掲載し、会員へ情報提供を行う。
- ・関連団体開催の諸会へ協賛等による、広報活動を行う。
- ・本会の活動成果・関連資料などの出版を行い、会員及び業界全般へのサービス提供を行う。
- ・本会パンフレットの発行を、毎年定時総会終了後に行う。
- ・雑誌などへ寄稿や協会広告掲載を検討、実施する。

コンプライアンスの推進（主査：コンプライアンス部会）

- ・国土交通省をはじめ、経済産業省、公正取引委員会等からの「関連する法令や指針及びガイドラインの遵守」等の指導・通達・要請について、会員企業への周知徹底を図る。
また、ビルディング・オートメーション業界における課題解決の取り纏めを他の部会との連携にて行なう。
- ・建設現場における「建設キャリアアップシステム」の運用状況を継続して監視する。また、「重層下請構造の改善に向けた取組」について、状況に応じて国土交通省や関連団体に対し、陳情等を行う。

業界の窓口対応(理事長活動他)

- ・ビルディング・オートメーション市場の今後のビジネス発展、市場開拓に寄与する業務。
- ・会員企業の地位向上に資する活動や協会の知名度を高める活動
- ・1つの企業では解決できない業界的な共通課題への対処

協会運営の強化

- ・国内のビルディング・オートメーション市場で事業活動を行っている企業を幅広く把握し、入会等会員の増強を図る。
- ・会員企業との意見交換を実施し、市場の動向と協会への意見・要望を把握し、協会活動の充実を図る。

第4号議案

令和4年度予算案（単位：円）

前年度繰越金 2,065,382

【経常収入の部】

年会費収入 36社 3,000,000 (昨年度実績からの見込み)

利息 10

経常収入見込み 3,000,010

【経常支出の部】

通信費 3,000

旅費交通費 750,000

交際費 200,000

広告宣伝費 60,000

消耗工具器具備品費 10,000

事務用品費 10,000

諸手数料 15,000

会議費 250,000

業務委託費 700,000

図書講習会費 20,000

教育訓練費 950,000

予備費 32,010

経常支出見込み 3,000,010

法人税等 120,000

次期繰越金見込み 1,945,382

第5号議案

会長・副会長承認の件

会長	濱田 和康
副会長	吉田 浩
副会長	久保 昌範

役員改選承認の件

代表理事（留任）	小澤 浩			
理 事（留任）	真壁 則義	増田 正範	朝妻 智裕	
	上原 和夫	岩城 保直	渡邊 賢佳	
	赤井 健二	岩崎 博久	寺林 誠	
	内藤 博人	木村 征吾	宇賀神 浩憲	
監事（留任）	菅沼 孝至			
退任理事	金丸 敏也			

報告事項

令和4年度会長・副会長（案）

会長	濱田 和康
副会長	吉田 浩
副会長	久保 昌範

令和4年度役員（案）

理事長	小澤 浩
-----	------

令和4年度会長・副会長(案)

会長： 濱田 和康

アズビル(株) 取締役 執行役員常務 ビルシステムカンパニー社長

副会長： 吉田 浩

ジョンソンコントロールズ(株) 代表取締役社長

副会長： 久保 昌範

パナソニックLSエンジニアリング(株)

東京本部 ビルシステム事業統括部 執行役員統括部長

令和4年度役員(案)

理事長：小澤 浩

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 営業本部 本部長補

理 事：真壁 則義

(株)ニシテック 東京支店 理事 営業部長

理 事：増田 正範

ジョンソンコントロールズ(株)

営業推進本部 営業開発統括部 営業2部 担当部長

理 事：朝妻 智裕

東芝インフラシステムズ(株)事業開発センタービルDX推進部 担当部長

理 事：上原 和夫

パナソニックLSエンジニアリング(株)

東京本部 ビルシステム事業統括部 ビルシステム事業推進部 部長

理 事：岩城 保直

ジョンソンコントロールズ(株)

ソリューション開発本部 プロダクトマネジメント部

理 事：渡邊 賢佳

アズビル(株) ビルシステムカンパニー

営業本部 担当部長

理 事：赤井 健二

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 計装本部計装営業企画部 課長

理 事：岩崎 博久

日本電技(株) 東京本店 計装技術一部 部長

理 事：寺林 誠

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 営業本部 専任部長

理 事：内藤 博人

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 経営企画部 広報グループ

理 事：木村 征吾

(株)オーテック 環境システム事業部 技術統括部 課長

理 事：宇賀神 浩憲

パナソニック LS エンジニアリング(株)

東京本部 ビルシステム事業統括部 システム技術第二部 部長

監 事：菅沼 孝至

計装事業統括部 東京計装事業部 副事業部長 兼 営業部長

事務局長：伊藤 均

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 営業本部営業3部 課長代理

正会員（令和4年3月31日現在） 36社

特別会員

一般財団法人	建築保全センター
公益社団法人	全国ビルメンテナンス協会

一般社団法人

ビルディング・オートメーション協会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-5

TEL 03-3248-0889
